

第5回秋田市マイタウン・バス北部線運行協議会議事録

開催の日時 平成21年12月18日（金）午後6時から午後8時まで

開催の場所 北部公民館

委員の定数 17名

出席委員 12名

議 題 (1) 停留所の新設要望について
(2) 路線バスとの接続地点変更等について
(3) 定期券・回数券の導入による乗継券への対応について

事務局 開会の言葉

会 長 挨拶

次第の2、報告について説明願う。

事務局 秋田市マイタウン・バス北部線実績報告について説明。

委 員 実績報告は必要ない。市と中央交通がバス路線を廃止して、その補償的な意味でマイタウン・バスを運行している。赤字なのは分かり切っている。何のための説明なのか。

委 員 成績が悪いので廃止するという事なのか。路線バスが走っていた時の実績と比較しなければ、意味がないのではないか。

事務局 廃止や減便等のための報告ではない。

会 長 実績報告は、運行状況を事実として報告したものであり、他意はない。議事に入る。

事務局 議題1 停留所の新設要望について説明

委 員 バス停の要望はかなり前からあった。運行開始時から福田町内の利用者が歩く距離が長いことを考慮すべきであったもの。今まで待たされるとは思っていなかった。

委 員 運行協議会を開催するのが遅すぎる。もっと早く対応すべきである。事前に要望しているのだから、運行協議会の開催前に調べて、結果を報告すべきであり、これから安全性を確認するのは話にならない。

事務局 冬期間の状況について、確認が必要と判断したものである。

委 員 冬期間はバス停まで歩くのが大変なので、その前にやるべきであった。

会 長 実施する方向で前向きに対処して欲しい。すぐに対処されたい。

委 員 黒川の方も冬期間は危険なので運行しないと聞いている。

委 員 小泉でも、冬期間は雪のため、電話しても来てくれないという話を学校から聞いている。細かいところにも、ちゃんと入って欲しい。

事務局 学校に確認して状況を調べる。

委 員 予約が1人しかいない時は、断られるという話も聞く。今後、そのようなことがないようにして欲しい。

委 員 そのような事はないはずだが、確認しておく。

委 員 いつから調査して、いつから実施するのかははっきりして欲しい。

事務局 来週から調査して、24日を目途に判断したい。

会 長 次に議事の 2 について説明願う。

事 務 局 議事 2 路線バスとの接続地点変更等について説明。

会 長 乗り継ぎの変更について、PR はどのように考えているか。

事 務 局 4 月 1 日に合わせてダイヤ改正を考えており、それまで利用者に周知したい。

委 員 飯島北の待合室は何回か利用している。戸もついていないし、蛇口があるが排水はない。高齢者は携帯電話を持っていない人が多い。これまでの飯島二区と両方使えるのであればよいのだが。

事 務 局 飯島二区も停留所としてこれまでどおり使えるが、車両の待機場所としては使えない。飯島北だと、回転地で車両が待機できるというメリットもある。

委 員 接続するバスがどうせ遅れてくるのだから、うまく接続できる路線バスがないからといって廃止しないでほしい。利用者は、乗り継ぐ場合、かなり早めに着くように利用している。

会 長 この件については、了解することとして良いか。

委 員 異議なし

会 長 では、議題の 3 について説明願う。

事 務 局 議題 3 定期券・回数券の導入による乗継券への対応について説明。

委 員 回数券や定期券を中央交通と共通で使えるということか。

事 務 局 回数券は、中央交通で発行したものを共通で使える。定期券については、マイタウン・バスの路線内での定期券となる。

委 員 子どもの利用を考えると定期券の導入は良いことと思う。

委 員 定期券や回数券を導入するか、これまでどおり乗継券を使うか、この場で決めるとのことか。

事 務 局 そのとおりである。

委 員 中央交通との連携を考えれば、回数券等を導入した方がよいのではないか。

会 長 ゆうゆう券の取り扱いはどうなるのか。

事 務 局 これまでどおり使用できる。

委 員 買い物回数券は利用時間に制限があるのか。

事 務 局 資料にあるとおり、平日の日中と日曜祝日の終日利用できる。

会 長 乗継券を廃止して回数券等を導入することとしてよろしいか。

委 員 異議なし

会 長 以上で議事は終了する。その他について説明願う。

事 務 局 その他（ 1 ）運賃の変更について説明

委 員 路線バスと料金を合わせた方が、長い目で見ると良い。合わせた方がよい。

委 員 基本的にはやむを得ないと思う。ただ、交通機関の運賃を値上げする時、値上げの理由として、よく利用率の低下といわれる事に対して抵抗感ある。利用率低下のツケは利用者が被らなくてはならないのか。それでは、行き着く先は廃止しかなくなるのではないか。

会 長 委員のいうとおり、交通機関の値上げについては、乗らないから運賃を上げるといのは慎むべきで、企業努力が先にあるべき。マイタウン・バスについても、こういう意見があるということ踏まえながら、やむを得ないのではないか。

委 員 料金が上がった分は、市の費用負担の圧縮に使われるのか、それともサービス向上に使われるのか。

事 務 局 基本的には費用負担の圧縮につながるものであるが、サービス向上に努める。

会 長 この件については、概ね了解ということによろしいか。

委 員 異議なし

会 長 その他（２）について説明願う。

事 務 局 その他（２）路線の延伸等について説明。

委 員 上新城中学校の統廃合については、教育委員会と話し合いを重ね、生徒の足の確保についても市が総力を挙げて努力すると言ってきた。それができないということは、全力でやっていないということ。延伸については、北部市民サービスセンターの件も含め、市長や議会も巻き込んで、大きな取組をしなければならぬ。

事 務 局 市民サービスセンターや飯島中学校の件については、交通手段を確保するのが我々の務めと認識している。今後も解決方法について検討していく。

委 員 子ども達を安全に運ぶことを第一に考えて欲しい。今のままでは、人通りも少なく危険で学校に通えない。現在のルートは病院に曲がる前の角に待合室の設置をお願いしたが無理だといわれた。病院ではなく、ちゃんと学校まで送り届けて欲しい。

委 員 バス路線廃止も学校の統廃合もこちらからお願いしたわけではなく、市がやったことなのだから、キチンとした対応をすべき。

委 員 通学の足が確保されなければ、統合の調印に印鑑は押せない。

委 員 場合によっては、世論を味方につけて交渉した方がよいのでは。

会 長 担当課レベルでは埒があかない。別の方法を考えなくてはならない。

委 員 バス事業者の主張も理解できる。スクールバスを走らせるとか、土崎駅からサービスセンターまでのリムジンバスを走らせるとか、市を大きく巻き込んで考えていくべき。

委 員 サービスセンターができれば延伸、という話をずっとしてきた。担当課に話すと、考えなくもないというような返事で、文書でいただければ文書で返すと言っている。しっかりした返事をもらうために、事務局から文書で地域振興課に出してもらった方がよいのではないか。

会 長 サービスセンターの場所を、あそこに決める時、利便性の悪さから反対の声が大きかったが、利便性を考慮するという約束であそこにした経緯がある。市当局は、この件について責任を持って欲しい。

事 務 局 路線バスは乗り入れする予定と聞いている。問題は、こちらの地区からの交通手段をいかにするかということと認識している。

委 員 統廃合に伴い、市は児童・生徒を安全に運ぶ義務がある。

事 務 局 担当課と相談しながら検討しているところである。

委 員 組合病院から飯島中学校までは、1.5キロで歩くには距離があるし、土崎駅やサービスセンターの延伸のことを考えるとこれくらいは認めてもらわないと困る。このままでは、飯島二区で乗り換えて、また土崎駅で乗り換えてと、2回乗り換えないとサービスセンターに行けなくなってしまう。飯島二区か

ら直接サービスセンターに行けるよう、バス事業者へも働きかける必要がある。この会議で終わりということではなく、ねばり強く働きかけていかなければならない。

会 長 この件については、文書で次の北部地区の会議にかけたいと思っている。地区全体の問題として声を届けなければならない。

委 員 この運行協議会で話し合ったことを文書で提出してもらって、できる方向に持って行って欲しい。

会 長 北部議員団にも相談しながら実現に向けて動きたい。

委 員 去年の市民ミーティングでも、この件はお願いしている。直接、運行協議会がバス事業者に要望するなどしてはどうか。

会 長 この件については、今後も引き続き実現に向けて運動していくこととする。最後に、その他の（３）定時定路について説明願う。

事 務 局 その他（３）定時定路について説明。

会 長 利便性が高ければ乗る、という人もいる。この次の協議会で乗客の多い便、少ない便の資料を提示して欲しい。

委 員 定時定路にするしないの問題ではない。市はバスを廃止した責任を取らなくてはならないものであり、経費は問題ではない。

会 長 予約は、やはり１時間以上前であれば駄目なのか。柔軟に対応できないか。

委 員 可能な範囲で柔軟に対応している。

委 員 満員のため乗車を断ったことはあるのか。無いとすれば、予約していなくても、手を挙げた人がいて、空きがある場合は乗せるようにするべきではないか。

委 員 現在もそのように対応している。

委 員 １日４・５便であれば定時定路も可能という話だが、シミュレーションして、このようになるというのを示してくれれば議論しやすいのではないか。

委 員 下新城線は、隅々まで走っているので難しい面はあると思う。全部を回れば時間がかかりすぎるだろうし、どこかを削るようなら、今のままでいいという町内もあるだろう。

会 長 路線の延伸等については、交通政策室にとどめることなく、広く市の問題として取り組んで欲しい。これで第５回運行協議会を終了する。

以上